



われらも麒麟！！プロジェクト

現在、「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」では、「われらも麒麟！！プロジェクト」と題して、中高生が「面白い！」と感じ、学んだ明智光秀や岐阜の歴史を伝えるため、中高生ボランティアによる解説や、高校生のアート作品展示、記念スタンプの設置など、さまざまなイベントをおこなっています。（中高生ボランティアのメンバーを通称「われらも麒麟メンバー」あるいは、略して「われきりメンバー」と呼んでいます。）

われらも麒麟メンバーによる活動は大河ドラマ館閉館まで続き、今後新たなイベントも計画しています！大河ドラマを楽しむ一つの要素として、皆様に喜んでいただけたらと思います。

歴博セレクション

ぎふ歴史物語 伝統の技と美

2020.4.4(土)～6.28(日)

当館は平成17年3月にリニューアルオープンして以来、2階総合展示室にて原始～現代にわたる岐阜市域の歴史を紹介する「ぎふ歴史物語」、岐阜市が誇る伝統工芸を紹介する「伝統の技と美」を展示してきました。今回の歴博セレクションでは、現在大河ドラマ館内で公開中の戦国時代の展示を除く、原始～古代、近世～現代の岐阜市の歴史および岐阜市の伝統工芸を紹介します。

「ぎふ歴史物語」のうち、原始・古墳コーナーでは、縄文土器をはじめとする土器類、ナイフ形石器や装飾品などの石器類、古墳の副葬品に見る金属製品の展示から、現在の岐阜のルーツ

を探ります。

古代コーナーでは、「美濃」ブランドの須恵器生産の拠点だった老洞古窯跡群や、古代寺院に使われた瓦を紹介し、都と美濃の関わりについて考えます。

近世コーナーでは、絵図や古文書などを通して、岐阜町と加納城下町という2つの町とその周辺の村々の実態に迫ります。

近代・現代コーナーでは、新政府の樹立、濃尾震災、日清・日露戦争や2度の世界大戦が岐阜の人びとの暮らしにどのような影響を及ぼしていったのかを考えます。

「伝統の技と美」では、現代に継承された岐阜和傘・岐阜提灯・岐阜団扇を展示し、巧みな技術と美しさをお楽しみいただけます。

展示室内では、歴博ボランティアによる展示室の案内や、浮世絵の重ねずりや土器の文様つけなどの体験コーナーも設置しており、楽しく岐阜市の歴史を学ぶことができます。

(5月11日～15日は休室します。)

ぎふ歴史物語

【原始・古墳】



龍門寺1号墳出土 短甲

古墳時代 4世紀末期～5世紀初期
市指定文化財

【古代】



老洞1号窯跡出土 「美濃」刻印須恵器

奈良時代 8世紀前期
重要文化財

【近世】



美濃国厚見郡岐阜絵図并寺社
江戸時代後期

木曾海道六拾九次之内 加納
江戸時代後期 19世紀
広重画



【近代・現代】



愛知県岐阜県震災義捐金一覧表

明治24年（1891）

澤久次郎発行



貯蓄奨励ポスター

昭和15年（1940）頃

大政翼賛会発行



供出で明るく結ぶ村と町

昭和20年代

農林省発行

伝統の技と美



蛇の目傘 四八 切継ぎ模様

昭和40～50年代



御所型 大輪菊図

現代

歴博セレクション

豊臣 vs 徳川

2020.4.4(土)~5.10(日)

本能寺の変で岐阜城は城主である織田信忠（信長嫡男、1557～1582）を失いました。その後は、一時的に占拠した斎藤利堯（生没年不詳）を経て、慶長5年（1600）に落城するまで、岐阜城主は織田信孝（信長三男、1558～1583）、池田元助（1559？～1584）、池田輝政（1564～1613）、豊臣秀勝（秀吉甥、1569～1592）、織田秀信（信忠嫡男、1580～1605）と変転をたどりました。この背景には、岐阜が戦乱の舞台となったことがあげられます。

最初の大きな戦いは、賤ヶ岳の戦いです。羽柴（豊臣）秀吉と柴田勝家が織田信長の後継者をめぐって争う中で、織田信孝は勝家に与しました。そして、天正11年（1583）4月の賤ヶ岳の戦いで勝家が敗れると、信孝は岐阜城を明け渡すことになったのです。

賤ヶ岳合戦図屏風（部分）



奮戦する秀吉子飼の七本槍

次には、小牧・長久手の戦いです。全国規模で羽柴方と徳川方とに分かれた大きな争いでした。天正12年4月9日の長久手合戦では岐阜城主であった池田元助が戦死しています。

最後には慶長5年9月15日の関ヶ原の戦いです。岐阜城主であった織田秀信は西軍（豊臣方）

に味方しましたが、前哨戦となった岐阜城をめぐる攻防で敗れて、あえなく岐阜城は落城しました。これ以後、岐阜地域は大坂への要地として徳川方として重視されました。



関ヶ原合戦図屏風（部分）

決死の退却をおこなう島津軍（島津の退き口）

こうした、豊臣と徳川との戦いの最後が大坂の陣です。慶長19年におこなわれた冬の陣、そして翌20年の夏の陣を経て、徳川の世が確立していきました。

本展では、こうした歴史を、歴史博物館所蔵の絵画作品や歴史資料をたどりながら紐解いていきます。

大坂夏の陣図屏風（部分）



突撃する真田幸村（信繁）

屏風や巻物に描かれた合戦図は、江戸時代の軍記物などに取材しており、物語性豊かに描かれています。そうした名場面を追っていくことで、戦国時代の雰囲気を感じていただきたいと思います。また、歴史資料は、豊臣と徳川両者の間で激しく散った火花を生々しく伝えてくれます。

歴博セレクション

れきはく名品展 － 寄託品を中心に －

2020.5.16(土)～6.28(日)

岐阜市歴史博物館では館蔵品のほかに、岐阜市域を中心に多くの作品をお預かりしています。

これまで、常設展示（総合展示）や特別展・企画展等で折にふれて展観してまいりましたが、テーマに沿った展示では紹介できない作品も多くあります。

そこで、“名品展”と題し、考古、絵画、歴史資料等の各ジャンルから逸品を展観いたします。岐阜の誇りともいえる作品をご鑑賞ください。以下では、そのいくつかを紹介します。

【考古】



宝珠古墳出土品
古墳時代前期 個人蔵

宝珠古墳は、本巣市文殊地区内の丘上にある、全長48m、後円部直径25mの前方後円墳です（現在は滅失）。出土した四獣鏡や禽獣鏡などの鏡は仿製鏡（国産）で、良質の白銅鏡です。また、管玉・石釧・紡錘車は碧玉製、勾玉は翡翠製で、丁寧な作りこみがみられます。これらの祭祀具の副葬品から、被葬者の性格がうかがえます。

【絵画】

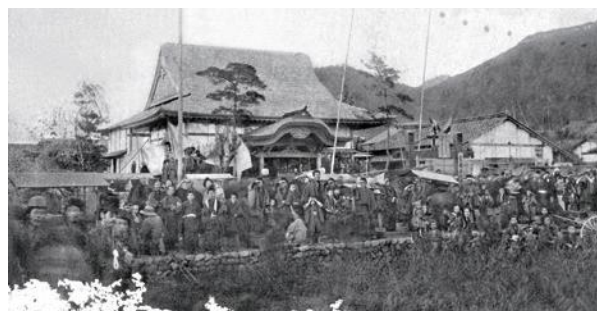


兜率天曼荼羅図（部分）
鎌倉時代 岐阜市 誓願寺 重要文化財

兜率天は欲界（六天－人間界－八大地獄）を構成する六天の内の一つで、弥勒菩薩の住む世界です。その世界観を描いたのが本図です。

14世紀以前にさかのぼり得る類例の少なさや、状態の良さから平成29年に重要文化財に指定されました。小画面ながら截金や金銀泥、暈彩色に飾られた世界は観るものを惹きつけます。当時の人びとの浄土への強い願いを感じさせます。

【歴史資料】



開堂式当日の記念写真（部分）
明治26年（1893）10月 岐阜市 震災記念堂

岐阜市若宮町にある震災記念堂は、明治24年（1891）10月28日に発生した濃尾地震の犠牲者追悼施設として、震災3周年にあたる明治26年に開堂しました。公共施設ではなく、特定の団体が建設し、後には個人や地域の方の手で毎月祥月命日の法要が営まれてきた点で、全国的にも稀有な施設といえます。

われらも麒麟！！プロジェクト

「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」に合わせ、歴史博物館では「われらも麒麟！！プロジェクト」を実施しています。

第一弾の高校生によるアート作品の製作・展示では、映像部門21点、グラフィック部門41点の93人の高校生から応募がありました。そして、記念スタンプデザイン部門では中高生から240点の作品が集まり、5種類の記念スタンプを設置しています。

2階「われらも麒麟！！コーナー」では、全作品を順次展示しており、連日多くの来場者の方に「どの作品も大変、見ごたえがある。高校生の目線から見た戦国時代や岐阜の新たな魅力を知り、さらに楽しむことができた。」という声をいただいています。

また、大河ドラマ館内では、「われらも麒麟！！プロジェクト」第二弾の中高生われらも麒麟メンバーによる、解説活動や外国語通訳案内活動を行っています（中学生65名、高校生42名、計107名が第1期われきりメンバーに登録）。滋賀県からお越しの来場者の方からは、「中高生の解説を聞いて、さらに大河ドラマを観るのが楽しみになりました。中高生の視点から新たに気づかされることがあり、これからもっと戦国時代のドラマを楽しめそうです。」という声もいただいております。

われらも麒麟メンバーの中高生も、意欲をもって学び、活動しています。この活動を通して、ふるさと岐阜の歴史を学び、岐阜に誇りをもち、そして、来場者の方との出会いや関わりを通して、自信と生きる力をつけてほしいと思います。

■解説・案内活動開催日時■

土・日・祝祭日および学休日等の
10～12時および13～15時

第一弾 表彰者

【グラフィック部門】

岐阜市長賞	なかやま あつし 中山 温史
岐阜市教育委員会賞	高等部 5組
岐阜市歴史博物館賞	かつの ゆうだい 勝野 雄大
入選	あさの ゆい 浅野 由衣
県立岐阜工業高等学校3年	ひびの るか 日比野 留花
県立岐阜工業高等学校3年	はたひら ひとみ 畠平 瞳
県立岐阜高等学校1年	つばい さくら 坪井 さくら
私立岐阜女子高等学校3年	くりやま さちえ くりやま 幸恵
私立岐阜女子高等学校3年	かむら もえ 栗山 萌
県立岐阜総合学園高等学校3年	河村 萌
県立岐阜羽島特別支援学校	美術部

【映像部門】

岐阜市長賞	きむら まい 木村 舞
岐阜市教育委員会賞	いとう ちり 伊藤 千莉
岐阜市歴史博物館賞	

県立岐阜総合学園高等学校1・2年

マルチメディア部（代表5名）

入選

県立岐阜工業高等学校3年	たにぐち ゆめ 谷口 友萌
県立加納高等学校	放送部
県立大垣工業高等学校	放送部
県立岐阜工業高等学校3年	かなもり ほのか 金森 帆野佳

【記念スタンプ部門】

岐阜市長賞	ののむら まお 野々村 愛央
岐阜市教育委員会賞	くの ゆづき 九野 優月
岐阜市歴史博物館賞	たかぎ みえい 高木 美瑛
入選	すさき こうた 鷺崎 功汰
岐阜市立精華中学校2年	いしかわ りん 市川 凛
県立岐阜工業高等学校2年	



第一弾 表彰者記念撮影

道三公の体験工房 第1弾 「土岐の鷹」 my ブックカバー作り

大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に合わせ、稲葉山城ゾーン道三エリア内に位置する加藤栄三・東一記念美術館では、岐阜の文化や歴史を体感できるアート体験コーナーを開設しました。

その第1弾として美濃和紙でブックカバーを作る体験講座を開講しています。ブックカバーになる美濃和紙には土岐氏一族が描いた鷹の図「土岐の鷹」を描きます。土岐の鷹とは延元元年（1336）ごろからおよそ200年間、美濃国を支配してきた土岐氏一族が描いた鷹の図のことで、江戸時代まで一つの型を守り描き受け継がれてきました。これは日本の絵画史上珍しいことで、その内容も室町時代末期に活躍し、花鳥図を得意とした画僧：雪村に迫る表現と言われ芸術的価値も高く評価されています。



制作風景

美濃和紙は、岐阜県美濃地方で原材料である楮こうぞがよく取れたことから奈良時代よりこの地方で漉かれてきました。美しさと丈夫さが共存するのが特徴で、江戸時代には最高の紙と称えられ、越前和紙、土佐和紙とともに日本の三大和紙と言われています。昭和44年（1969）に本美濃紙の生産技術が重要無形文化財の指定を受け、平成26年（2014）にユネスコ無形文化遺産になりました。

筆使いと墨の濃淡で表現される水墨画表現を用い、美濃和紙に土岐の鷹を描くという体験講座は、初日から多くの方に好評を得ています。

■開催日時 毎週日曜日 午後1時～3時
(5月中旬まで予定)

■定員 各日先着20名程度

■参加費 200円

■参加方法 事前申し込み不要

※5月中旬以降も第2弾、第3弾の体験講座をご用意しています。



完成したブックカバー

■分館 加藤栄三・東一記念美術館の展示■

～4月12日（日）

加藤栄三・東一とゆかりの画家たち

～4月12日（日）

金田 千加子 洋画展 ―愛しき者たちへ―

■分室 原三溪記念室の展示■

～3月22日（日）

明治・大正のおひなさま

3月24日（火）～4月26日（日）

柳津 学校教育の始まり

上記の日程は、都合により変更する場合もございます。ご了承ください。

Facebook 開設&ホームページ リニューアルのお知らせ

令和元年11月11日、岐阜市歴史博物館の公式 Facebook を開設しました。また、12月9日には、岐阜市歴史博物館のホームページをリニューアルしました。

今後も歴史博物館の情報をより分かりやすく、タイムリーに発信していきたいと思ひます。ぜひご覧ください。

《Facebook ページ》

<https://www.facebook.com/gifushi.rekihaku/>



《ホームページ》

<https://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/>



利用の御案内

■ 開館時間 午前9時～午後5時

(歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館の入館は午後4時30分まで)

■ 休館日 毎週月曜日と祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月3日)

(月曜日が祝日の場合はその翌日)

※特別展・企画展開催中は変更することがありますので、ご注意ください。

※歴史博物館は令和3年1月11日(月・祝)までは無休です(1階特別展示室は休室日あり)。

■ 観覧料 (団体は20人以上)

《歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館》

歴史博物館総合展示、加藤栄三・東一記念美術館

高校生以上 310円(団体250円)

小中学生 150円(団体90円)

両館共通で観覧される場合

高校生以上 520円(団体410円)

小中学生 260円(団体150円)

◎下記の方は無料でご観覧いただけますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。

①岐阜市在住の70歳以上の人

②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付を受けている人、およびその介護の方1人

③岐阜市内の小中学生

④家庭の日(毎月第3日曜日)に入館する中学生以下の人と同伴する家族(高校生以上)の方

◎特別展は、その都度料金を定めます。

※「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」は別料金です。

大河ドラマ館に関しては、大河ドラマ館入場券販売管理センター(TEL:058-201-3838)へお問い合わせください。

《原三溪記念室》

観覧料は無料です。

■ 交通案内

《歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館》

JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜バスにて長良方面行きに乗り、「岐阜公園歴史博物館前」で下車、すぐ東に歴史博物館があります。

岐阜公園内ロープウェー乗り場すぐ隣に加藤栄三・東一記念美術館があります。

《原三溪記念室》

岐阜バス茜部三田洞線 下佐波及びカラフルタウン行きに乗り、「下佐波」で下車、徒歩2分

岐阜バス茜部三田洞線 もえぎの里及び高桑行きに乗り、「もえぎの里」で下車、徒歩すぐ

博物館だより No104 2020. 2

編集・発行 岐阜市歴史博物館

(分館) 加藤栄三・東一記念美術館

(分室) 原三溪記念室

〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46

〒501-6121 岐阜市柳津町下佐波西1-15 もえぎの里2階

☎058(265)0010

☎058(264)6410

☎058(270)1080